

2018 年度協定校短期プログラム 留学報告書

※記載されている内容は留学時の情報に基づくものです。

学部・学科および学年(留学時)	法学部法律学科 2年
性別	女
留学先国・大学名	大韓民国 梨花女子大学 (EWhA WOMANS UNIVERSITY)
留学期間	8/6~8/22 16日間

留学準備について

留学前あるいは留学中にどのような準備を行いましたか。

留学前には、それまでに習った韓国語や英語の復習(テスト後で十分に時間は取れなかったが)を行い、必要なものを留学先の大学のホームページや過去にこのプログラムを利用した人の体験談などを通じて用意しました。

留学中には、宿題を期限内に済ませ提出したり、その日の授業で扱った文法や単語について復習を行ったりし、プログラム最終日にある試験に向けて用意しました。

費用について

(留学にかかった経費を教えてください。)

	日本円	現地通貨
航空券(往復)	54660円	
保険料(本学指定のもの)	5330円	
住居費		約 ¥480000
食費		約 ¥220000 (カフェ含む)
通信費	5202円 (ワイホー)	
交通費		約 ¥30000
娯楽(観光、お土産など)		約 ¥117000
教科書代		約 ¥13000

留学をした理由等について

なぜ留学をしようと思ったのか教えてください。

自分の英語や韓国語がどれほど外国で使えるのか試してみたかったからです。一度も日本を離れたことがないため、外国で実際に日本語以外の言語を使って幅広く様々な国から集まった多くの外国人とつながることにとっても興味を抱きました。また、長期留学を考えているため、留学がどのようなものか知ることを目的に、まず短期的に留学してみようと考えたからです。

留学先の国・地域および留学先大学について

留学先の国・地域および留学先大学を特に志望した理由があれば教えてください。

韓国語を第二外国語として選択して学んでいるので、英語と韓国語を同時に使うことができるのは韓国であると思い選択いたしました。それだけでなく、奨学金で授業料が免除されるうえに、梨花女子大学は韓国において

大変有名で優秀な大学であったために、向上心の高い人たちが集まっていると考え魅力を感じたからです。

大学が所在する街の様子を教えてください。(街の雰囲気や治安、気候などについて)

キャンパスの前には有名なショッピング街があり、コンビニはもちろんのこと、コスメ店、カフェ、韓国料理店、アクセサリー店、服や靴屋などたくさん並んでおりとても賑やかなところです。また、明洞や弘大など、有名な街へのアクセスも非常によいうえに、韓国は交通費が安いので、気軽に出かけることができます。

今年は酷暑であったために過ごしやすかったとは言えませんが、キャンパスには自然が多く、設備も整っています。校門にある花が彫られている壁や、地下につながる不思議な形をした建物(ECC)は、韓国でも有名であるようで、写真スポットにもなっていました。

留学先の国・地域の良い点・悪い点、またそこに留学するにあたって事前に準備したほうがよいことがあれば教えてください。

韓国はとても物価が安いです。特に交通費は日本より断然と安いです。また、韓国語に自信のない人であっても、日本語の通じる地域が多いため、生活しやすくなっています。英語であれば、ほぼどこでも通じます。

ただ、授業前にわざわざ朝ご飯を食べに行ったり買いに行ったりするのは面倒なので、前日に用意するか、もしくは日本からシリアル等を持っていくと非常に便利だと思います。

Field Trip に関して連絡が直前であったり、情報が明らかに足りなかったりしてとても不便だったので、事前に、このプログラムを利用した人の体験談などを読んで確認しておくとういと思います。

プログラムを振り返って

1日のスケジュールについて教えてください。

9:00~11:45 韓国語の授業 13:30~15:00 Special Lecture in English or Japanese 15:20~18:30 Field Trip
(日によって終了時間はまちまちで、正確な終了時間についての連絡はありませんが、大体早めに終わります。映画鑑賞だけは 18:30 くらいに終了しました。)

授業はいかがでしたか。(授業の行われ方・内容に関する日本との違い、課題・勉強量・時間 等について)

私が履修したクラスは2Bであったが、韓国語で授業が行われるので難しいがとてもためになります。初心者クラスでは適度に英語を用いてくれているようでした。先生は交代制で2人が順番に授業をしてくれましたが、どの先生も親切で、わかりやすく発音してくれるし、わからない時は先生に聞くと丁寧に教えてくれます。授業の形態は、主に、文法を学びそれを用いてクラスメイトとペアを組んで声を出しながら学習し、リスニングや読解を行います。生徒参加型で魅力的な授業であったように思います。

宿題はたまに出ますが、負担になるほどではありませんでした。上位クラスでは作文の宿題に苦しんでいるようでしたが、能力以上のことは問われません。

試験に関しても、授業で習った範囲をしっかりと見直ししておけば何も問題はありません。授業や課外活動に規定以上参加していれば単位を落とすようなことはないようなプログラムになっています。(慶應は単位認定されないの関係ありませんが)

課外活動はいかがでしたか。特に印象に残ったものがあれば教えてください。

韓国の伝統的な文化に触れることができ非常にいい経験になりましたが、課外活動に関する情報が遅いうえに十分なものではなく、動きづらい部分がありました。しかし、大学側もアンケート調査を行ったり、副学部長が実際に参加して生の声を聞いていたりしたので改善される余地は十分にあると思います。

アンドンに民泊する Field Trip では、ラフティングを行うため、日本から事前に濡れてもいい衣服、そしてサンダルを持参しておくとういです。また、船一隻につき、一人インストラクターのような人がついてくれますが、

川に落とされたりするので、泳ぐのが苦手な人や水が怖い人は参加をオススメしません。世界文化遺産に宿泊するため、十分にシャワーなどは浴びることはできないので、それら全てを考慮した上でアンドン旅行に参加するか否かを決めたほうが良いと思います。

日常生活はいかがでしたか。(寮生活、クラブ活動、ボランティア、学生交流、日本から持参するとよいもの等について)

日本人が多いので、外国語に自信がない方でも問題はないし、各国から多くの外国人の方々が集まってくるので、たくさん関わりたい方はその機会は十分にあると思います。留学生それぞれに、バディとして現地の大学生が一人、生活をサポートしてくれます。自分から積極的に連絡を取っていけば、この短期間にたくさん関われると思うし十分に仲を深められると思います。私は実際に帰国した今でも連絡を取っているし、バディの友達とも仲良くなって一緒に出かけることもできました。バディは主に韓国語はもちろんのこと英語を流暢に喋れる方が多い。日本語を話せる方は稀です。

留学をして得たもの、良かった点・悪かった点などを教えてください。

この短期間で、韓国語や英語が少し上達することはあっても、完璧に話せるようになることはまずないと思います。しかし、短期留学で大切なのは、その後に活かすことであると思います。実際に、私は英語や韓国語を使って様々な人とお話をしたり出かけたりしましたが、上手く思ったことを伝えられなくてもどかしく感じた場面はたくさんありました。その経験を踏まえて、より一層語学の勉強に力を入れて、世界から集まるたくさんの人とつながっていきたいと思うことができました。韓国が好きで観光などをメインに参加している人も中にはいますが、向上心の高い人もたくさん集まってきているので、自分の力を試したい人は参加してみると今後につながると思います。

これは私の考えであるが、日本人が多く参加しているプログラムであるため、部屋も日本人と一緒にになるので、集中的に英語や韓国語を使いたくても思うようにいかない節はありました。しかし、同じプログラムを共にやり遂げた仲間として、日本人の多くの友達ができただことは非常に嬉しく感じました。

今後プログラムへの参加を希望する学生へのアドバイス

- ・部屋のトイレにトイレットペーパーはついていないので持っていくとよい。箱ティッシュも。
- ・アンドン旅行は詳細を十分に把握してから参加するか否かを決定するとよい。
- ・朝ご飯にシリアルなどを持っていくと便利である。
- ・洗濯物を干す場所がないので、洗濯ロープをもって行ってそこにかけて乾燥機代が節約できる。
- ・洗剤や柔軟剤も各自持参する必要がある。
- ・ゴミ箱はあるがビニール袋はないので持っていくと便利。
- ・延長コードがあると便利。

留学中の様子がわかる写真を数枚貼付してください。(任意)



以上